

# 和歌山大学

## クリエ映像制作プロジェクト ドキュメント制作 2014

作成者 藤本 啓一

### 1. 目標

- ・ドキュメント作品のテーマ、構成、日程を計画し撮影させて頂く「U-tage」さんにアポをとる
- ・「NHK大学放送コンクール 映像番組部門」に作品を提出する
- ・来年度のコンクールに向けて、ドキュメント作品の打ち合わせをし、作品を制作していく。

### 2. 目的

カメラ、ガンマイクを利用して撮影、録音し編集してドキュメント映像を作り上げる。新入生たちに映像制作に関わってもらい、カメラや編集の基本操作などを学んでもらう。8月末までに「NHK大学放送コンクール 映像番組部門」に提出することを目標として活動する。来年度のコンクールに向けてもう一つのドキュメント作品を作る。

### 3. 主な活動内容

提出するドキュメント作品の企画立案から作品完成までの一連の工程をすべて行う。ドキュメント作品制作には他の映像番組作品とはまた違った撮影、編集技術が必要となる他、取材先のアポ取りや、そこで活動する様々な人たちとコミュニケーションを図ることが必要となってくる。それらの作業をこなし、一つの作品を作り上げ、コンクールに提出し反省することで、次に作る作品に活かしていく。これらの作業は分担してやるのではなく、すべての工程に全員が関わられるようにし、全員が全ての工程に対し理解を持ち、広い視野を持つことで、作業を円滑にすすめることができる。

#### 4. 具体的な活動内容

##### NHK大学放送コンクール 映像番組部門

3度目の参加となるが今年度は全くの外部の団体取材し、ドキュメント作品の制作を行うこととなった。4月にはアポを取り、取材先を訪れ始め、撮影を開始した。取材先の劇団「U-tage」さんは、8月に公演を控えており、その公演を取材し、撮影するまでを一区切りとした。「U-tage」さんの練習にはほぼ毎回取材しに行き、作品の構成をどのようにするかミーティングを毎月行った。取材し始めた当時は、どのようなインタビューを行えばよいかわからず、右往左往してしまうことも多かったが、「U-tage」さんを何回も取材していくうちに、打ち解けることによって、劇団内の人間関係や、内情がよく見えてくるようになり、自ずとどのようなインタビューを行えばよいかわかるようになってきた。最後の取材が8月中盤になったこともあり、作品提出の9月11日までに編集をしなければならなくなり、日程調整をもう少し入念に、余裕を持って行うべきだと感じた。作品を完成させることができ、提出したが、残念ながら入賞することはできなかった。この現状を真摯に受けとめ、敗因や改善点を探し、かつ好成績を残した作品を研究し、自分達の作品にはなにが足りなかったのかをしっかりと追及し、次回のドキュメント制作に活かし、賞獲得を目指したいと思う。



野外での撮影時の画像

## 5. 結果・成果

今回のドキュメントは、メンバーの中では初の試みであり、わからないこともたくさんある中での制作となった。外部の人たちとのアポ取り、取材先とのコミュニケーションやインタビュー、大型カメラを手持ちでの撮影、明るさがバラバラな映像の編集などわからないことが非常に多くあった。特に編集は時間が短く、ほとんど一人で作業するという状態に陥ってしまっていた。そしてコンクールは賞が取れなかったという厳しい結果に終わっている。メンバー全員の撮影のスキル不足を痛感したが、構成やインタビューの質問内容をより考える必要があるように感じた。インタビューの質問内容を決定するためにも構成決めにより時間をかけ、かつ取材先とより多くのコミュニケーションをとり、内情や人間関係などをしっかり観察する必要があると感じた。

## 6. 今後の課題・展望

今回のドキュメント制作は期間が短かったというのもあり、あまり取材先決めや編集、構成決めに時間をかけることができなかった。次に制作する作品ではこれらのことを踏まえ、より長い時間をとって作品を制作していきたいと思った。カメラの使い方も独特な部分があるので、事前に練習する必要があると感じた。そして、以前クリエ映像制作はNHK 大学放送コンクールのドキュメント部門で一度優勝しているのでその時の映像をしっかり研究し、つぎの制作に反映していきたいと思った。そしてこれらの技術をしっかり一年生に指導し、引き継いでいく必要があると感じた。ドキュメントは撮影時にあんまり人を多く連れていけないので、人手はそんなにいらないと感じたが、実際そのメンバーだけで企画から編集までやるととても多忙であった。そこで次回からはもう少し人数を増やし、それぞれに全体でどういうことをするのかを指導した後、作業の担当を分けることによって専門性をあげ、よりクオリティの高い作品を制作しようと感じた。

今まで我々クリエ映像制作プロジェクトは制作した作品をNHK 大学放送コンクールに提出することで作品の評価を測っていたが、NHK 大学放送コンクールの各部門が次々と廃止になっていき、ついにドキュメントしか提出することがなくなってしまっているのである。これを機にドキュメント制作の重要性を再確認するとともに、いつ廃止になるかわからないNHK 大学放送コンクール映像番組部門で賞を獲得したいと強く感じた。

## 7. 感想

今回のドキュメント制作は私にとっては初めてのミッションリーダーであり、初めてのドキュメント映像作品を制作することになった。特に最初の取材先決めと外部とのアポ取りとインタビューは苦勞することとなった。撮影もカメラを手持ちでずっとまわしているのも、カメラが非常に重く撮影が終わるころには汗だくになっていた。重要な場面を取り逃さないようにずっと気を張らなければならないし、手ぶれが無いよう常に振動に気を付けなければならない、自分が予想している以上に体力勝負の部分が多くあると感じた。今回は厳しい結果に終わってしまったが、周りのメンバーたちに支えられながらも多くのことを経験することができたと思う。今後はその経験を生かし、ミッションと自信の更なる向上に繋げていきたいと思う。

今まで我々クリエ映像制作プロジェクトは制作した作品をNHK 大学放送コンクールに提出することで作品の評価を測っていたが、NHK 大学放送コンクールの各部門が次々と廃止になっていき、ついにドキュメントしか提出することがなくなってしまっているのである。これを機にドキュメント制作の重要性を再確認するとともに、いつ廃止になるかわからないNHK 大学放送コンクール映像番組部門で賞を獲得したいと強く感じた。